

危険なブロック塀

ありませんか？

ブロック塀は私的財産です。所有者の責任における管理が必要です。

ご家庭で所有または管理されている道路沿いのブロック塀に傾きやヒビ割れ等があれば、地震で倒壊する危険性があります。また、平成30年6月には大阪府北部の地震により児童の尊い命が倒壊したブロック塀で失われています。このような事故が起きないようにご家庭のブロック塀等に目を向けて危険ではないか再確認いただきますようお願いいたします。

危険なブロック塀とは？

傾きぐらついている、ヒビ割れ、鉄筋露出、何段も積んで高さがある、基礎がない、石垣の上に施工しているなど…。

職員等が診断し評点が40点未満であれば「危険なブロック塀等」と判断されます。

ブロック塀の点検

自己診断

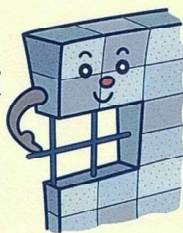
5つのチェックポイントを確認してください。
5つのチェックポイントのうちひとつでも該当するところがあれば専門家に相談しましょう。

チェックポイント 1

塀に鉄筋は入っていますか？

塀の中に、直径9mmの鉄筋が次のように入っているか調べて下さい。この点検は、塀を造った施工者などと相談して行って下さい。

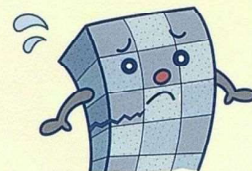
- 鉄筋は縦横ともに80cm間隔に入っていますか？
- 縦筋は頂部の横筋にかぎがけされていますか？
- 基礎の下側の横筋にかぎがけされていますか？
- 控壁の鉄筋は、図のように入っていますか？



チェックポイント 2

塀の傾き、ひび割れはないですか？

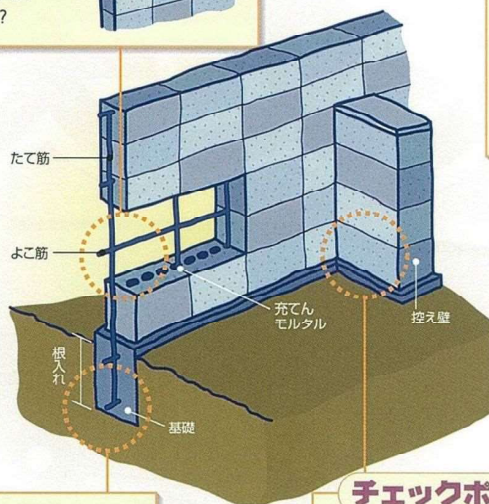
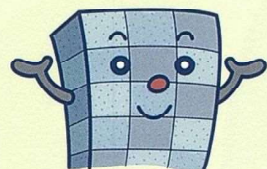
塀が傾いていたり、ひび割れていたりしていませんか？また、鉄筋が錆びていないか調べて下さい。



チェックポイント 3

塀の高さが高すぎいませんか？

塀の高さは、地盤面から2m以下か調べてみて下さい。



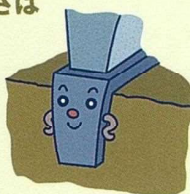
ぼくは
だいじょうぶ
かな？



チェックポイント 4

基礎あり、根入れの深さは十分ですか？

鉄筋コンクリートの基礎は、地盤面から30cm以上の根入れがされていることが必要。まわりを掘って調べてみて下さい。（「根入れ」とは、基礎のうち土の中に入っている部分のことをいいます。）

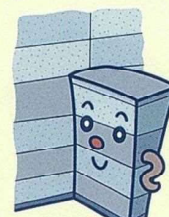


チェックポイント 5

控壁はありますか？

控壁は、次の2点について調べてみて下さい。

- 控壁は塀の長さ3.4m（ブロック8個程度）ごとにありますか？
- 控壁の長さは40cm以上ありますか？



嘉麻市ではブロック塀等の撤去費用の一部を補助します

補助金交付の対象となるブロック塀等

市内にある**道路に面した高さ1メートル以上のブロック塀等の撤去工事**（**全て又は一部の撤去**）とします。ただし、他の制度による補助金の交付を受けるものを除きます。

- ①当該ブロック塀等について**職員が診断し**評点が**40点未満**のもの
 - ②職員が診断後に補助金申請を行い、補助金の**交付決定後に着工できる工事**であること
 - ③ **令和5年2月末までに完了届が提出できる工事**であること
 - ④その他市長が災害時に安全上支障があると認めるもの
- ※当該ブロック塀等を**一部撤去する工事は、次の⑤⑥⑦のいずれも満たすこと**
- ⑤事業完了後に診断カルテで70点以上となるもの
 - ⑥事業完了後に高さが1.2メートル以下となるもの
 - ⑦建築基準法第42条に規定する道路内に存しないもの

補助金交付の対象者

ブロック塀等の撤去を行う所有者または管理者とし、次の①②③のいずれにも該当しなければなりません。

- ①**同一敷地において、この告示に基づく補助金の交付を過去に受けたことがないこと**
- ②嘉麻市暴力団等追放推進条例第2条第4号に規定する暴力団員又は同条第5号に規定する暴力団関係者でないこと
- ③**本市の市税や公共料金等**（市営住宅使用料・介護保険料 など）を**補助対象者や世帯員が滞納していないこと**（注1）

補助金の額

- ・1申請についてブロック塀等の**撤去費用の3分の2に相当する額**（1,000円未満切り捨て）で、**160,000円を限度とする。**
- ・**補助対象工事を行うブロック塀等の総延長に1メートルあたり8万円を乗じた額を上限とする。**

※事業所得者が申請する場合、確定申告の際にブロック塀等の撤去費用を経費として取り扱うときは、消費税分を減額した額をブロック塀等の撤去費用とします。

（注1）補助対象者が法人の場合は、滞納（未納）のない証明書等を添付していただきます

事前協議・補助金申請の受付

事前協議・申請受付先：嘉麻市役所土木課土木管理係

8時30分～17時（土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く）

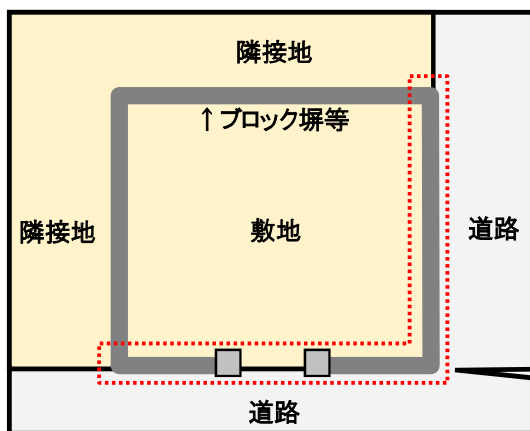
事前協議・申請受付日

- ①**事前協議は、令和4年5月2日から受付** を行います
 - ②**申請受付は、事前協議後の診断結果の回答後から**本市の事業予算額に達し次第締切
- ※申請書等の書類は、事前協議後（補助対象の場合）に郵送いたします
※予算枠に達したときは、その時点で受付を締め切ります。

嘉麻市ホームページで事業についてご確認できます。 <http://www.city.kama.lg.jp/>

工事概要

補助金対象となる範囲(平面図)



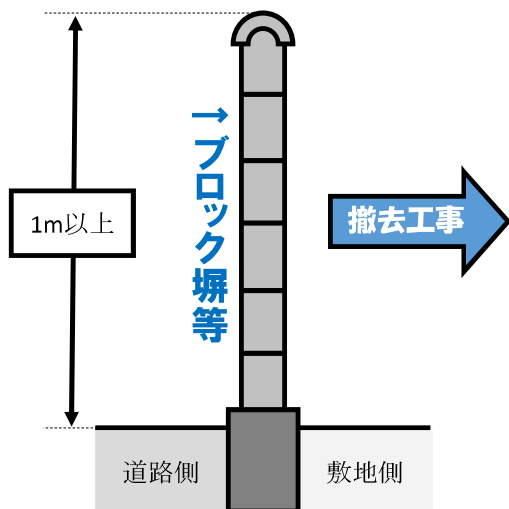
補助対象は、道路に面しているブロック塀等となっており、左図の赤点で囲まれた部分の撤去費について補助額を決定します。※例えば左図の敷地周りのブロック塀等を全て撤去しても赤点範囲の撤去費のみを見積り申請することになります。

- ①申請後に発送する交付決定通知の受領後に工事を進めることになります。
- ②令和4年2月末までに工事を完了しなければなりません。

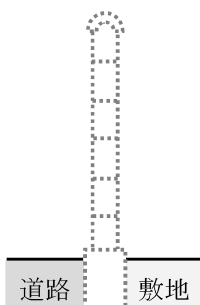
道路に面したブロック塀等の撤去費が対象です

撤去する部分(断面図)

撤去工事には全部・一部撤去工事があり、一部撤去の場合は撤去後の計画で「診断カルテの評点が70点以上となる」などの制限があります。

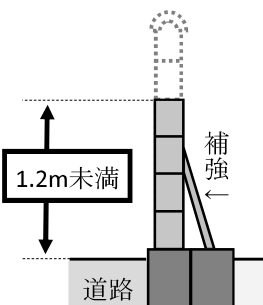


全部撤去



一部撤去(注2)

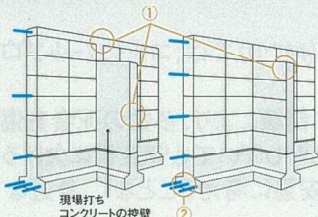
または



注2 事業完了後に診断カルテで70点以上となるもの
事業完了後に高さが1.2メートル以下となるもの
建築基準法第42条に規定する道路内に存しないもの

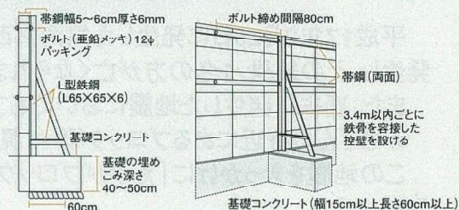
地震対策例

- ①控壁は、壁の長さの3.4m以内ごとに設け、中に鉄筋を入れて塀とつなぎ、控壁や塀の頂部はコンクリートブロックを積むより、現場打ちのコンクリートにしたほうが安全です。また、塀の端部にも必ず控壁を設けましょう。門柱と塀を接続する場合は、双方とも丈夫な構造として鉄筋で十分つないで下さい。
- ②基礎の幅は、ブロック塀の厚さ以上とし、地中への埋めこみ深さは法律には30cm以上あればよいとされていますが、できるだけ35cm以上にするようにして下さい。基礎のたけは法律には35cm以上あればよいとされていますが、できるだけ40cm以上して下さい。なお、基礎は・L・型にするのがもっとも有効です。



ブロック塀の補強例

すでにあるブロック塀などでも正しく工事がされていないものや、老朽化しているものは早めに専門家の点検をうけ、取りこわすか、補強しておくことが必要です。参考としてブロック塀の補強の一例を示しておきますが、なるべく危険な塀は取りこわして安全にしておきましょう。

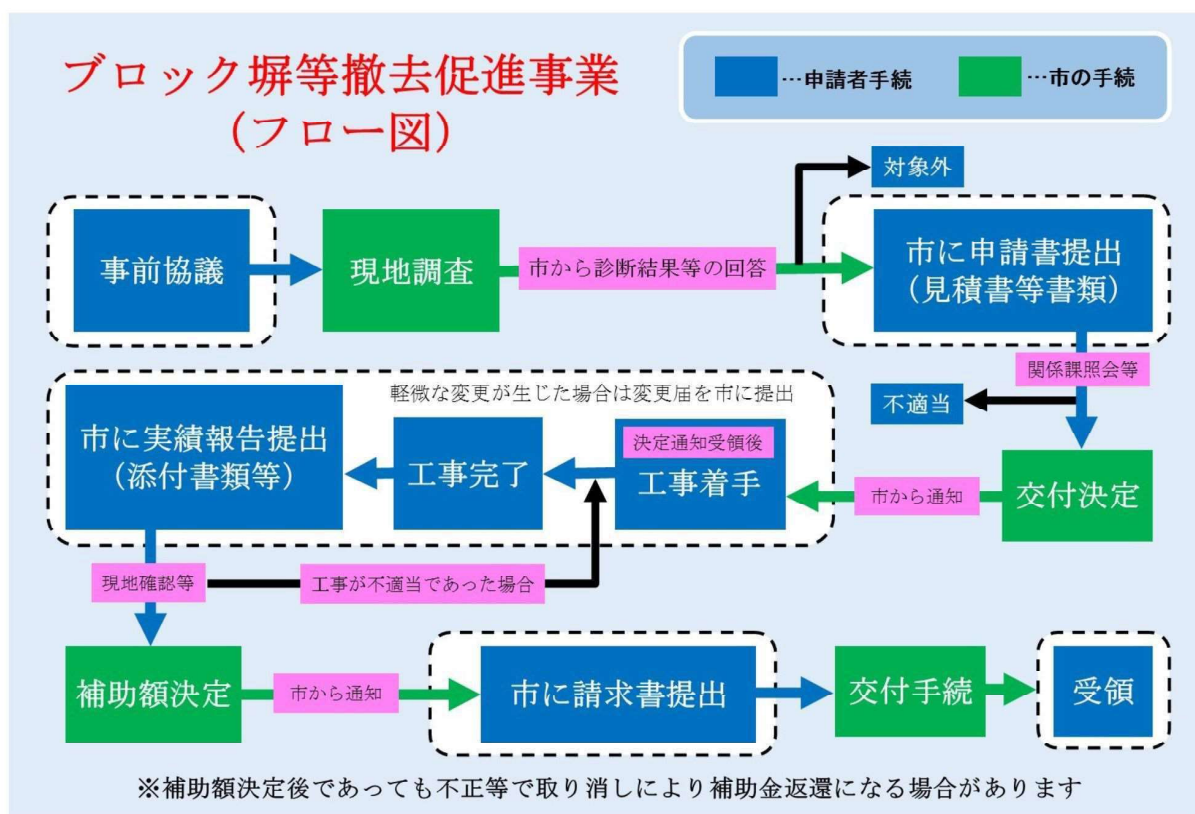


問合せ先 嘉麻市役所土木課土木管理係

TEL 0948-42-7043

8時30分~17時(土曜・日曜・祝日及び年末年始を除く)

事業フロー



メモ帳